

電子入札コアシステムでの JIS2004 の使用制限について

- (1) Windows Vista クライアント環境に JIS90 フォントパッケージをインストールします。インストール方法などについては、下記 URL をご参照ください。

・ Windows Vista 向け JIS90 フォントパッケージ：

http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/jis90/default.msp

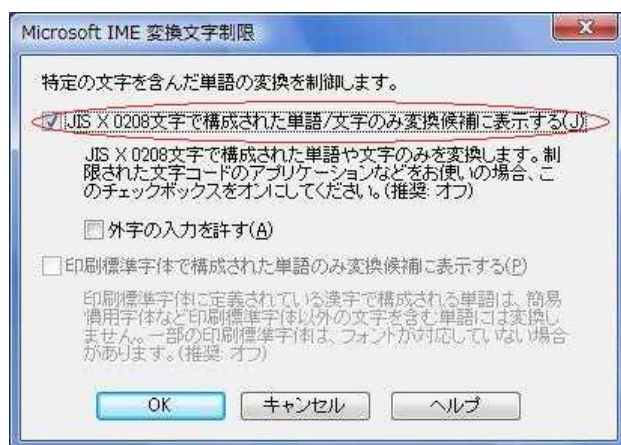
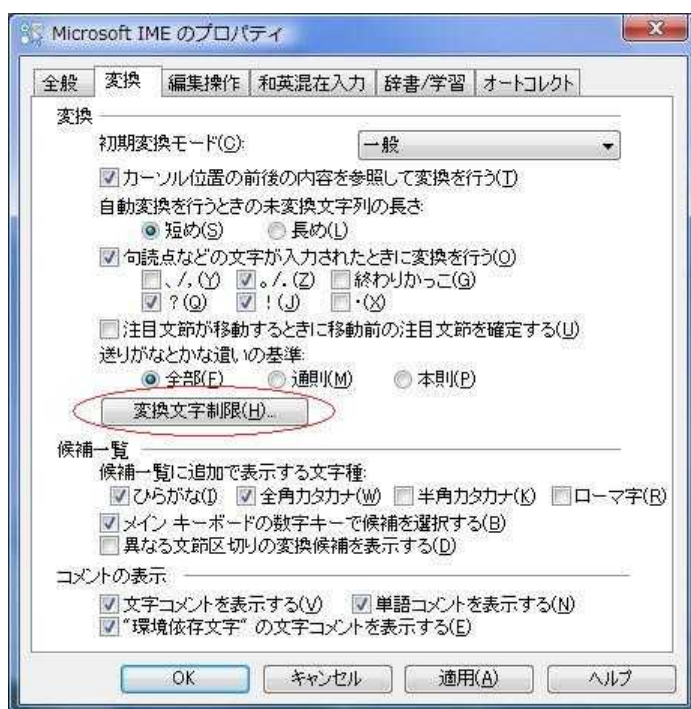
上記パッケージの適用により、対応するタイプフェイス（フォント）に限り、画面上に表示される字形が JIS90 フォント環境と同等になります。対応するタイプフェイス（フォント）の詳細については上記 URL をご参照ください。

また、このパッケージには JIS2004 にて追加された文字（JIS90 フォント環境では使用できない文字）の入力を制限する機能が含まれていないことを確認しておりますので、必ず下記（ 2 ）の対応をあわせて実施くださるようお願いいたします。

(2) 日本語入力用 IME での変換対象を従来の「JIS90」に制限します。以下に Microsoft IME における対応方法を示します。

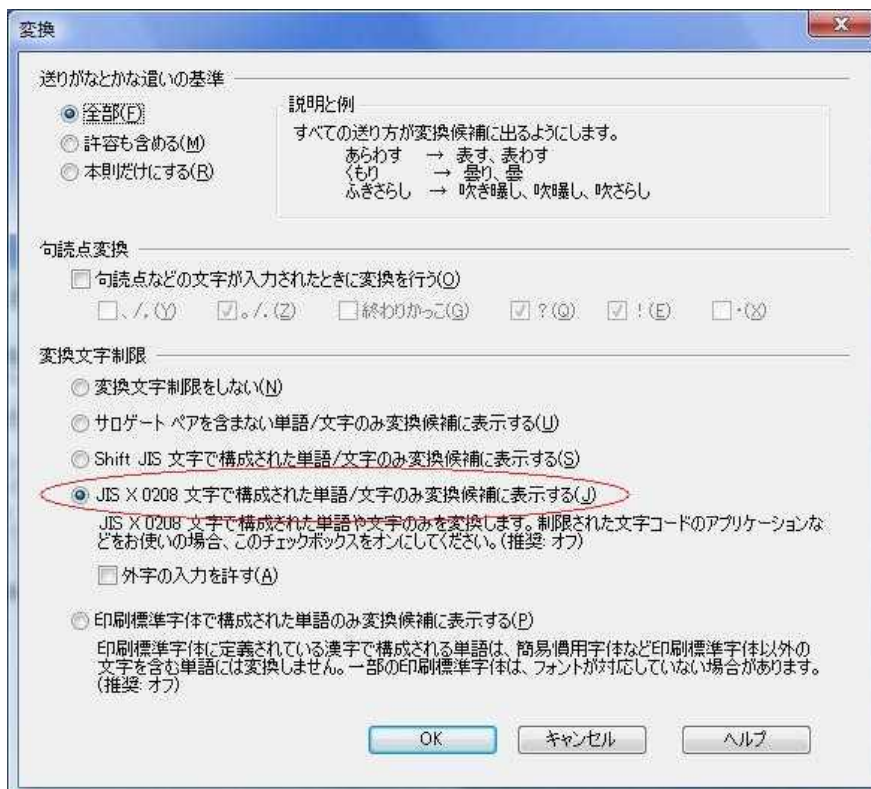
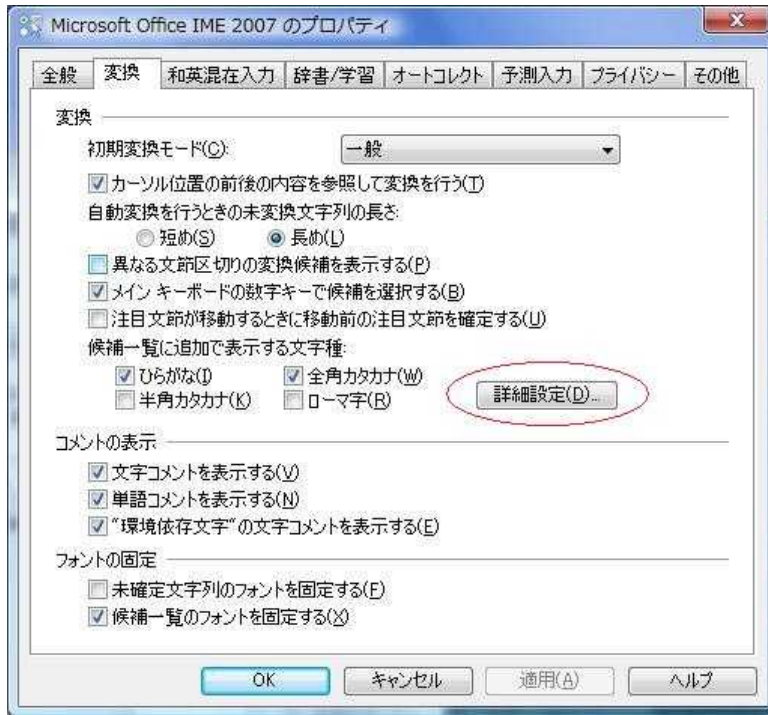
【Windows Vista 標準の IME を使用している場合】

IME プロパティを開く (1) [変換]タブ [変換文字制限]で、「JIS X 0208 文字で構成された単語 /文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる

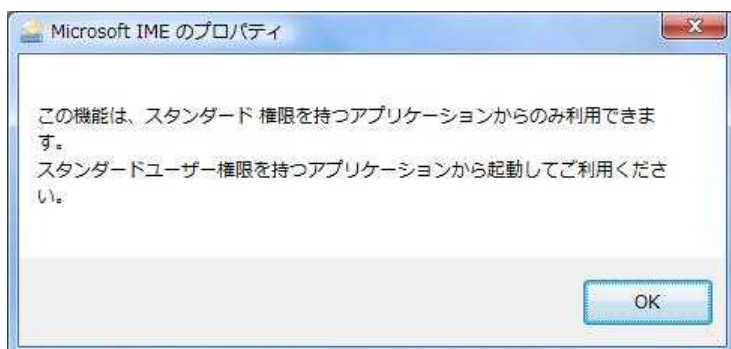


【Microsoft Office2007 付属の IME を使用している場合】

IME プロパティを開く (1) [変換]タブ [詳細設定]で、「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる



- 1 IME のプロパティを開く際、ご使用の環境によって以下に示すメッセージが発生し、設定が変更出来ない場合があります。



この現象が発生した際は、Microsoft ホームページの以下の URL に記載されております情報を参考に対応を行ってください。

- ・KB931482 Windows Vista の Internet Explorer 7 で顔文字などの登録した単語が使用できない
<http://support.microsoft.com/kb/931482/ja>

上記 Microsoft IME 以外の対応方法については確認しておりません。Windows Vista クライアント環境においてコアシステム上での文字入力操作を行う場合には、上記対応を実施した Microsoft IME (Windows Vista 標準の IME または Microsoft Office2007 付属の IME) をお使いください。

出典：電子入札コアシステムサービスセンター

「電子入札コアシステムでの JIS2004 の使用制限について」

(http://www.cals.jacic.or.jp/coreesc/Member5/Member05_index.htm)